

平成23年11月1日

各局区等の長様

副市長

(担当：行財政局財政部財政課)

平成24年度予算の編成について（通知）

平成24年度予算編成に当たっては、「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画の策定作業と並行して編成に取り組んでいただいているところですが、各局区等における年間の財政需要を把握する必要がありますので、実施計画（骨子）の趣旨を十分に踏まえ、下記の諸点に留意しつつ、予算要求及び編成を進めていただきますようお願いいたします。

本市の中期財政収支見通し（平成24～27年度）においては、一般財源収入の伸びが見込めず、財政は依然として厳しい状況にあり、財政構造改革に全庁を挙げて取り組む必要があります。予算要求及び編成に当たっては、費用対効果をこれまで以上に意識し、市会及び市民の皆様への説明責任を果たせるよう、事業内容や執行方法の精査に努めてください。

記

1 予算編成手法等について

- (1) 平成24年度当初予算は、局横断的な予算枠である給与費枠、投資枠、消費等枠を設け、枠ごとに財政運営の目標に基づく目安額を設定し、その範囲内での予算編成を本格的に行います。
- (2) これに伴い、枠ごとの予算配分の目安額について、実施計画（骨子）において定めた財政運営の目標に基づき設定し、別紙のとおりお知らせします。
- (3) 「はばたけ未来へ！京プラン」の重点戦略の実施計画への掲載を予定している事業をはじめ、政策的新規・充実事業の実施に要する財源については、投資枠、消費等枠の内数とし、平成23年度予算並みの30億円程度（一般財源ベース）を予定していますが、厳しい社会経済情勢の下、要求に当たっては十分に精査を重ねてください。
- (4) 政策的新規・充実事業に要する財源には限りがあるため、各局においては事業内容を厳選するとともに、例年同様、平成24年度に実施を予定している全ての政策的新規事業等について、政策目的を明らかにした上で要求を行ってください。
- (5) 消費等枠については、目安額として示した一般財源の一部をあらかじめ局ごとに配分（局配分枠）しますので、配分された一般財源の範囲内で局配分枠予算の編成を行ってください。
- (6) 投資枠については、政策的新規事業等を含むすべての事業について、全市的観点から査定を行い、実施事業を決定します。

2 予算編成の基本方針について

- (1) 現在策定中の「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画の検討状況を踏まえながら、予算要求及び編成を行ってください。
- (2) 市民との「共汗」で、京都のもつ「地域力」、「文化力」、「人間力」を引き出すことに留意するとともに、本市政策の「融合」により相乗効果、波及効果、経費節減効果を発揮できるよう留意し

てください。

- (3) 平成 24 年度予算編成においても、高齢化の進展等による社会福祉関係経費の増など、多額の財源不足が見込まれるため、各局においては行政評価制度等を活用し、事務事業の見直しを行ってください。
- (4) 市民の目線に立って改革に取り組む職員からの現場からの声やアイデアを実現するための、いわゆる「職員提案」型の予算についても積極的に要求を行ってください。

3 予算要求内容の公開等について

財政情報の公開を推進するため、平成 23 年度当初予算編成から要求内容を公開することとしており、平成 24 年度予算編成においても、政策的新規・充実事業の予算枠に係る要求内容について公開します。具体的な公開の時期等については別途お知らせしますが、市会及び市民の皆様に議論いただく期間を十分確保するため、昨年度より公開時期を早めて実施しますので御留意ください。

4 「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画「改革編」の更なる検討について

「はばたけ未来へ！ 京プラン」実施計画については、骨子を公表したところですが、今後、年度内の最終版策定に向けて、更なる計画の充実・磨き上げを行う必要があります。各局区等においては、引き続き、骨子の「改革編」に掲げる取組を中心に、全ての事業について幅広く点検・分析を行うとともに、課題が明らかとなったものについては見直しを推進し、最終版において方向性を示すことができるよう検討してください。

平成 24 年度予算編成における財政運営の目標と予算配分目安額

平成 23 年 10 月に公表した「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画（骨子）に掲げる平成 27 年度までの今後 4 年間の予算編成における財政運営の目標に基づき、平成 24 年度予算編成における予算配分目安額を以下のとおり設定する。

給与費枠

平成 27 年度までの財政運営の目標：部門別定員管理計画を策定し、事務事業の見直し等により定数削減を進めるなど、計画的に総人件費を削減

平成 24 年度予算配分目安額：経費 1,160 億円程度、一般財源 1,110 億円程度

投資枠

平成 27 年度までの財政運営の目標：27 年度末までに、一般会計の実質市債残高を平成 22 年度末（9,817 億円）から 500 億円（5%以上）縮減するため、実質市債発行額（※）と公共投資規模を抑制 ※実質市債発行額とは、国が返済に責任を持つ臨時財政対策債を除く、本市が実質的に返済に責任を負う市債発行額

平成 24 年度予算配分目安額：経費 580 億円程度、一般財源 130 億円程度
市債発行額 250 億円程度（投資的経費充当分）

左のうち政策的新規充実予算枠として一般財源 30 億円程度（予定）

消費等枠（公債費は除く）

平成 27 年度までの財政運営の目標：社会福祉関係経費の自然増（25 億円/年）に対する財政措置が国において講じられるまでの間、消費的経費のすべての予算について、改革を徹底し、毎年 25 億円の財源を捻出

平成 24 年度予算配分目安額：経費 4,900 億円程度、一般財源 1,820 億円程度